

検索

【今すぐ登録】 無料の会員登録ですべての記事が読めます!

ログイン中

ログアウト

会員情報変更

ジャンル別ニュース 解説 KeyPerson クローズアップ 連載 インタビュー コラム エフセキュア 中国・ASEAN AWS CSAJ BCN中文网

IT業界専門紙  
**週刊BCN**  
購読キャンペーン

創刊 35周年 記念

もれなくギフト券  
**3,000円**分  
をプレゼント!

ホーム 連載

RSS一覧

2016/12/09 09:03

印刷

RSS



[週刊BCN購読のお申し込みはこちら](#)

連載

[週刊BCN 2016年12月05日付 Vol.1656 掲載]

視点



## PUSH型からPULL型へ

東京大学大学院情報理工学系研究科 教授 江崎 浩

ツイート

いいね! 1

シェア

週刊BCN【クラウド特集号】アンケートご協力をお願い

アンケートを答えると  
抽選でギフト券をプレゼント!  
調査期間: 12月26日(月)まで

「電圧とは?」から計測時の注意点まで  
じっくり学べる!

「電圧」計測入門

KEYENCE 無料ダウンロード

Bizline会員サービス(無料)のご案内

- 会員専用記事が読める!
- 自社主催のセミナーをPRできる!
- メールマガジンが毎日届く!

新規会員登録はこちら

エラー: FacebookページのURLが無効です。

@WeeklyBCNさんのツイート

BCN\_Bizline @WeeklyBCN

Zerto、ディザスタリカバリに関する調査レポートを発表

bit.ly/2hhNl3u

11分

埋め込む

Twitterで表示

視点新着記事

落としどころとイノベーション

2016/12/16 09:03

PUSH型からPULL型へ

2016/12/09 09:03

- [PR]週刊BCN【クラウド特集号】
- [PR]DMM mobile データSIMプラン ライト
- [PR]ドン・キホーテが数百万コスト削減 抽選でAmazonギフト券プレゼント!
- [PR]実売データでわかる売れ筋ランキング
- [PR]音にこだわる「MediaPad M3」冬モデルの進化点

### 略歴

江崎 浩 (えさき ひろし)

1963年生まれ、福岡県出身。1987年、九州大学工学研究科電子工学専攻修士課程修了。同年4月、東芝に入社し、ATMネットワーク制御技術の研究に従事。1998年10月、東京大学大型計算機センター助教授、2005年4月より現職。WIDEプロジェクト代表。東大グリーンICTプロジェクト代表、MPLS JAPAN代表、IPv6普及・高度化推進協議会専務理事、JPNIC副理事長などを務める。

インターネットは、シンプルなStupidネットワークが、エンドノード間での透明なデジタルデータの送受信の環境を提供することで、さまざまなサービスやビジネスを持続的に創生・創成する環境を構築した。この、エンド・ツー・エンドシステムは、クライアント/サーバー型 (C/S型) とピア・ツー・ピア型 (P2P型) を、行ったり来たりしている。新しいサービスがP2P型で切り開かれ、ビジネス化の過程でC/S型へと変化・進化するサイクルである。現在は、軽い {一般ユーザー} エンドと、賢い & 重い {あちら側} エンドの構造になっている。このような形態は、「ベンダー・プロバイダ主導」のシステム形態である。

このベンダー・プロバイダ主導の構造は、「PUSH型」の Supply-Chain をつくることになる。この Supply-Chain の最適化が、最近では先進的な Industry 4.0 と認識されている。Supply-Chain は、工場内、企業内、さらに企業間・業界間まで含む。しかし、依然として、PUSH型であり、ベンダーやプロバイダが、その Chain を形成することになっている。しかし、需要側の状況を十分には反映していない自身の生産計画にもとづいて生産が行われ、営業が売りさばくことで、予実の帳尻を合わせている場合が一般的ではないだろうか。

すなわち、「ベンダー・プロバイダ主導」の状況を、「ユーザー主導」にすることが、実は、Industry 4.0 の本当のゴールである。ユーザーの需要・要求をもとに、Supplyシステムを管理・制御する、つまり、Supply-Chain ではなく Demand-Chain の構築である。このような環境では、ユーザーとベンダーが密接にシステムの技術仕様を定義する Dev-Ops と呼ばれる状況へ変革することで、より小さなコストで迅速かつ容易に、各エコシステムの高度化・効率化・安定化を実現することが可能となる。

このような動きは、すでに、データセンター業界においてみられる。Facebook による OCP (Open Compute Project) や Google、IBM による OpenPOWER Foundation、中国のアリババやテンセントなどの OTT (Over The Top) プレイヤーによる Scorpio である。これらは、OTT がユーザーとして、ユーザーが必要とする機器・システムを、ユーザーとベンダーが連携・協力して設計・実装、導入する新しい構造なのである。